

活動分野：

教育・人材育成

研究者名（研究グループ名）：

教育学部 神原一之（学習支援ルーム らび）

活動概要

前期10回（毎週金曜日）、後期15回（毎週金曜日）に学習支援活動を武庫川女子大学学校教育館にて行った。被支援者は武庫川女子大学近隣（鳴尾小学校、鳴尾北小学校、鳴尾東小学校、南甲子園小学校、小松小学校等）の小学校に通学する児童である。小学2年生から6年生（前期19名、後期16名）を対象として、1時間30分の学習支援活動を行った。学習支援活動は認知カウンセリングの手法を用いて1時間の算数学習を1対1で行い、その後30分間のピアサポートプログラムを実施した。

コーディネートの課題や運営面での努力

地域の小学校との連携を密にして、より学習環境が厳しい児童への参加を促すことが課題である。また、学生や教員のボランティアで成り立っているため、経済的・物理的な支援が必要である。

活動内容

活動・研究・委託テーマ	近隣小学校に通う児童に対する無料の算数学習支援
対象となる地域・企業等	西宮市
活動学生(ゼミ・学年等)	ゼミ学生3年・4年、大教2年生
連携時期	2019年5月から2020年1月
学外への広報方法	西宮市教育委員会へ通知
連携の内容・連携のプロセス	<p>西宮市教育委員会の講演をいただいた後、学校への案内通知およびメールによる連絡などを通じて、学習支援希望者を募集し、希望理由などから対象児童を選出する。その後、児童・保護者に対して説明会を開き、学習状況のアセスメントを行い、週1回、のべ10回から15回の学習支援を行い、保護者に対して毎回学習の進捗について報告を行う。</p> <p>次回の申し込みについて：第10期の学習支援は、2020年5月8日（金）より毎週金曜日17：45より全10回行います。参加希望者は、メールにて、件名「第10期らび参加希望（児童のお名前●●）」、①小学校名、②新学年、③児童名、④保護者名及び連絡先携帯番号・e-mailアドレス、⑤参加希望の理由（a算数学習のつまずき状況、b学校外の塾などの学習環境の有無）をご記入の上、3月13日（木）～3月31日（火）の間に神原（rabiroom@mukogawa-u.ac.jp）へ申し込みください。また、この活動に興味をお持ちの方も上記メールアドレスまでご連絡ください。</p>
地域面・教育面での成果	参加したほとんどの児童の学習に対する認知的・情意的な側面（算数が分かるようになった・算数ができるようになった・算数が楽しくなった）での向上がみられた。

活動内容PR(活動の様子・関係者からの評価等)



個に応じた教材を作成して支援



コンピュータを活用した支援



学習後のレクリエーション風景

保護者からのコメント例

この度初めてらびに通わせていただき、子どもも毎回通うのを楽しみにしていました。いつも丁寧に指導していただき算数が苦手な子でしたが、学ぶことの楽しさを体感させていただき、学習に取り組む姿勢も変わってきたように思います。ありがとうございます。来期も是非参加させていただければと思います。